

JWAF journal

日本勤労者山岳連盟

2024 4

日本勤労者山岳連盟 Japan Workers' Alpine Federation

〒162-0814 東京都新宿区新小川町5番24

TEL: 03-3260-6331 FAX: 03-3235-4324

Mail: jwaf@jwaf.jp

発行責任者/川嶋高志 発行年月/2024年4月



井原山

「足元まで群生迫るニリンソウ」

地元専門誌の取材で入山。平日で登山者が少なく、人物を時折入れる条件は専用アプリでスマホをファインダー代わりに自分を入れた。木漏れ日の中、足元で輝くように咲く小さな群れは下山まで250回ほどシャッターを押した中で印象深い一枚。

(吉永直樹・山岳チーム風はるか/福岡)

- 第36回総会報告(代議員の発言より)
- 部・局・専門委員会の活動

第36回総会「未来のために、平和と安全登山を目指そう！」

地方連盟からの活動報告 総会(2月17・18日・東京にて開催)での発言を紹介します。

●異代議員／道東地区: 台風による影響で登山道が崩壊し、回復しないままである。今夏に国立公園となる日高山脈は、これから一般登山者が増えるだろう。事故が増える懸念がある。課題が沢山あってどうすればよいか悩んでいる。また、幌尻岳登山道の整備を行った。

●高橋代議員／茨城: ハイキング登山道の崩壊という点で、道東地区連盟の報告と同じ状況にある。どのようにしたらよいか、どこにどう働きかけたらよいか。

●岡代議員／宮城: 東日本大震災により被災した三陸地域を復興するために、三陸海岸が国立公園化された。その時に福島・宮城・青森をつなぐ“みちのく潮風トレイル”設定にあたって、山岳団体として環境省等に提言し、海路(金華山ルート)が採用された。その後石巻市から同トレイルの登山道整備を委託され、有償ボランティアとして契約している。／石巻登山マラソンの一環として、開催前日の3月23日にコンパニオンレスキュー講習会を実施する。労山全国連盟と石巻消防署職員を講師に招き、石巻登山マラソン実行委員会と宮城労山会員等を対象とした救急救命講習を行う。また、ココヘリ・ヒトココの演習も行う予定。翌24日のマラソン本番前には、AUTHENTIC JAPAN社の協力を得てココヘリ捜索演習(労山捜索隊と連携)と搬送訓練を行う。／昨年は宮城県連創立50周年記念事業の一環として、7月末に黒部川流域・伊藤新道の登山道整備を行ない15名が参加した。

●山入代議員／和歌山: 2024年は県連創立50周年を迎え、3つの記念事業を開催する(①記念講演会、②記念山行、③記念誌発行)。記念講演は155名の参加(18名が会員外)だった。②は交流山行を兼ねて行う。／2020年・翌21年と続けて死亡事故が発生した。県連として事故防止安全対策講習会を年2回実施している。／大阪府との境にある和泉山脈にメガソーラーと巨大な風力発電の建設が行われており、これら自然エネルギー確保が更に環境破壊をもたらしている。

●太田代議員／愛媛県連: 山岳事故を減らすために春季・秋季安全登山講習会、ロッククライミング講習会、沢登り講習会、アイスクライミング講習会などの7つの講習会を実施した。／愛媛県自然保護協会からの援助を得て「堂ヶ森登山道整備」を行った。9年連続になる。また、県の生物多様性保全推進協議会に加入し

て「鹿の食害」対策にも協力している。／夏山の富士山のオーバーツーリズムに関して、トイレ・ゴミ・弾丸登山など問題が多いので、山梨県や静岡県も対策を検討している。山岳団体の労山も関係機関に対して提案を行ってはどうか。

●川嶋理事長／全国連盟: 山岳4団体の協議があるので、「コンパス」の普及に続いてこの富士山の問題についても議題として取り上げるべく発言していく。過去にテレビ番組で「富士山の入場料の是非」について労山は反対したが、著名登山家の一人は賛成で意見を述べた。静岡県は夜間山行の制限、山梨県では吉田口から5合目までの鉄道敷設などが取り沙汰されているが、いずれも山岳団体として意見を述べていく。

●金山代議員／島根: 会員数の拡大について報告したい。昨年156名の会員から18名増えて174名になり、12%の拡大となった。

●加藤代議員／香川: 会員拡大は各地で初級登山学校・公募登山を実施して入会者を迎えたが、一方で入会者と同数の退会者がいて、ここ数年270名の会員数で推移している。会員の定着が課題である。また、新しく入ってくる人は既に他の山岳保険に加入している人が多くなり、これまでのように保険として労山基金に入るよう働きかけるだけでなく、教育・遭難対策活動が労山基金を原資として実施していることなど、労山基金の理念と仕組みを理解してもらえるよう取り組んでいく必要がある。

●藤井代議員／山口: ジェンダー問題について。女性の問題は男性の問題でもあり、ジェンダーは諸問題に通じるという意見の方と、一方で、山に入るには男も女も関係ないという方がおり、地方連盟として一定の方向性をもって活動を進められる状況にない。

●荒代議員／福島: 会員拡大は見られず現状維持であるが、どちらかという微減傾向にある。

●滝代議員／広島: これまで現状維持できたが、2023年組織数報告では全国でワーストワンであった。原因は死亡事故を起こした会が大幅に会員を減少させたこと、会の中心メンバーが高齢になり、活動停止となって解散に至ったことである。

●鈴木代議員／新潟: 労山カレンダーについて発言する。新潟県連は会員の写真投稿で協力している。

資料によると前年度比で地方連盟販売数が180冊も減少している。2023年決算書のカレンダー製作費をみると若干オーバーし赤字になっている。一般のカレンダーと違って「月曜日始まりなので使いづらい」という声が沢山聞こえてくる。年々売り上げが落ちている原因ではないか。次年度は是非「日曜日始まりのカレンダー」を要望する。

●長沢代議員／岐阜：県連50周年記念行事を2023年8月27日に開催し、206名が参加した。内容は、①AUTHENTIC JAPAN社・久我社長のココヘリに関する講演、②企画展として加盟団体の紹介展示、③写真展は会員の作品を展示した。／能登半島地震救援募金については県連として10万円を寄付。ネットを利用して呼び掛け、短期間に多くの賛同を得て寄付した会・クラブもあった。／全国連盟への要望として、山岳4団体で推進している「コンパス」の利用方法（提出や山行管理など）の手引きを全国連盟推奨版として作成し、地方連盟にメールで送ってほしい。

●岩崎代議員／群馬：群馬県連は、他の山岳3団体連絡協議会と共同して、稜線トレイル（平標～三国峠・三坂峠）、赤城山の観光振興、上州武尊山スカイビュートレイルの支援活動を行っているのが特徴だ。登山道整備や清掃活動に協力してくれる参加者が少なくて困っている。前橋ハイキングクラブが「2023

年群馬県生涯スポーツ優良団体」として表章された。／『群馬の山歩きベストガイド 安心して登れる126コース』を発刊して4年になるが、好評販売中である。

●横田代議員／青森：組織拡大については、2つの会が市民を対象にした登山教室を実施したことが、自然減への歯止めになっている。私が所属する青森労山では、青森市の広報紙掲載やスポーツ用品店にパンフを置いてもらって参加者を募っており、広く市民への広報になっている。2023年は定員（30名）を超える39名の参加があり入会につながっている。課題は山行のリーダー層の育成で、急務となっている。

●西村代議員／京都：加盟団体一覧表にある通り「乙訓山の会」が前年比26名の増加をしたことが京都府全体を押し上げてくれた。市民向け公開山行の募集方法が、従来は市の広報誌やパンフレット配布などであったのを、GPS地図「YAMAPのお知らせ欄」に周知を行なったのが効果大であった。若者向けの媒体への切替が功を奏した。

●小林代議員／岡山：SDGs（持続可能な開発目標）の取組として、古くなったクライミングロープを再利用し、小中学校で使用するテントの張網の補助として活用できないか、模索している会がある。

総会の決議・決定集を加盟会へ1部配布できるように地方連盟宛にお送りしました。2023年度の総括と決算、2024年度の方針と予算の他、組織や事故、労山基金の統計も掲載しています。

登山時報 2024年春号を発行しました！

【内容】 巻頭言／第36回総会報告／『改訂新版 栃木の山150』の紹介／足尾ウインタークライマーズミーティング／震災ボランティアにおける山岳団体の役割／登山者だからできる能登災害ボランティア／登山と山岳文化の教養講座／2023年の事故概況／登山に役立つ気象のお話／遭難の教訓 備忘録⑤『単独』／山筋ゴーゴー体操 講習会とサポーター養成講座／スティープのノースウェールズ庭だより／山の自由帳／子づれ山さんぽ／マンガ

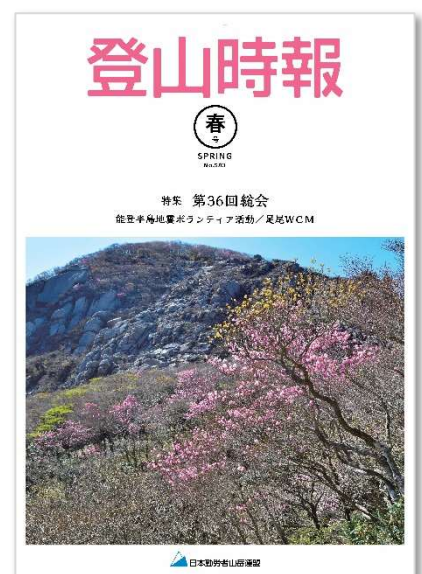
----- 個人購読・受付中!! -----

【年間購読料】1,200円（年4回発行。送料・税込）

【申込方法】郵便局の払込取扱票等を利用し、購読料を送金ください

通信欄に次の項目を記入いただくかメール等でお伝えください。①購読者氏名、②購読部数、③送付先住所、④電話番号またはメールアドレス、⑤開始を希望する号（例：2024年春号から）

【口座】00120-8-108163、加入者名「労山機関誌委員会」



【表紙写真】「鈴鹿御在所岳裏道から見たアカヤシオ」 加藤三津明（大垣勤労者山岳会／岐阜）

3月6日から4月2日までに届いた事故一報

事故発生日	地方連盟	年齢	性別	山名	山行形態	事故原因		傷病名	
1	2.18	東京	72	女	都留アルプス	無雪期登山	転倒	落ち葉で足を滑らせ、切り株に左前足の前面を打ち、転倒した。	表皮はくり潰瘍
2	2.18	東京	80	女	都留アルプス	無雪期登山	病気	登山中に初めは左足が、続いて右足が吊り、歩くことが出来なくなった。	こむら返り (有痛性筋痙攣)
3	2.24	静岡	51	女	城ヶ崎海岸	登攀	転・滑落	滑落しロープにより途中で止まったが、テラス状の岸壁に左足を打ちつけた	左足首開放骨折
4	3.2	新潟	50	女	室内ジム	人工壁	転・滑落	ボルダリング中、ゴール取りで失敗した際に左脚から落下	左脛骨高原骨折
5	2.24	宮城	62	男	三ツ石山	山スキー	転倒	平坦な雪面で凍結箇所があり、後ろ側に転倒し左肩を強打した。	左上腕骨大結節骨折
6	1.12	大阪	67	女	六甲山	無雪期	転倒	浅瀬の下においた右足がすべり転倒して左膝を別の石(岩)で強打した。	左膝蓋骨骨折
7	3.8	岡山	69	男	エベレスト街道	海外登山	高度障害	トレッキング中、嘔吐と下痢、めまいなど、高度障害で走行不可能になった。	高度障害
8	3.1	千葉	73	女	雪入山	無雪期	転倒	なだらかなところで転倒した。帰宅後腫れてきたので整形外科を受診した。	右足首靭帯損傷
9	3.13	東京	50	男	室内ジム	人工壁	その他	クライマーが不意に落下したため、よけきれずに肩と顔に衝突し受傷した。	鼻骨骨折
10	3.16	東京	52	女	伊豆ヶ岳	無雪期	転・滑落	伊豆ヶ岳へ行動中、左側斜面へ転倒滑落。自力下山が不可能のため救助要請。	右足首骨折
11	3.11	新潟	60	女	西穂高岳	積雪期	訂正	足を捻って下山途中から痛み出した。	捻挫
12	3.13	道央	71	男	カラパタール	海外登山	高度障害	トレッキング中に高山病を発症。疲労困憊憔悴の状態で山小屋に到着。	肺水腫
13	3.24	栃木	66	女	古賀志山	無雪期	転倒	岩場を前向きで下り、足が滑り背中から落ちそうになった時両手をついた。	右環指PIP脱臼骨折
14	3.22	東京	52	女	トマム山	山スキー	転倒	山頂より北側に滑走中に地形の窪みで転倒、その際に膝を顎を強打した。	唇裂傷
15	3.26	栃木	62	女	御岳	登攀	転・滑落	岩を登攀中、足を滑らせ握っていた鎖と岩の間に手の甲をうちつけた。	左手第三指中節骨骨折
16	3.30	神奈川	55	男	二子山	登攀	転・滑落	ポルト4本目あたりでバランスを崩し落下、その反動で岩壁に膝をぶつけた。	左脚大腿四頭筋挫傷

事故一報の受領順で掲載

年齢	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	合計
男性	0	0	0	2	2	1	0	0	5
女性	0	0	0	4	4	2	1	0	11
合計	0	0	0	6	6	3	1	0	16

形態	無雪期	積雪期	山スキー	海外登山	登攀	氷瀑	人工壁	訓練	合計
男性	0	0	1	2	1	0	1	0	5
女性	6	1	1	0	2	0	1	0	11
合計	6	1	2	2	3	0	2	0	16

原因	墜落	転・滑落	滑落	転倒	高度障害	虫	病気	その他	合計
男性	0	1	0	1	2	0	0	1	5
女性	0	4	0	6	0	0	1	0	11
合計	0	5	0	7	2	0	1	1	16

傷病	骨折	捻挫	断裂	挫傷	裂傷	打撲	損傷	その他	合計
男性	2	0	0	1	0	0	0	2	5
女性	6	1	0	0	1	1	1	1	11
合計	8	1	0	1	1	1	1	3	16

■遭難対策部

登攀中の転・滑落での骨折事故に注意

4月2日までに届いた事故一報は、15件16名。今月の事故原因は、転倒が6名(無雪期4名、山スキー2名)。転・滑落が5名(登攀4名、無雪期1名)。その他に落人と体勢が各1名。登山形態は、無雪期が6名、積雪期が1名、登攀が5名、山スキーが2名、海外登山が2名。下山中の事故は5件で、すべて転倒事故で、下山中の転倒事故が前月同様多数を占めている。登攀は5名(室内ジム2名含む)で、4名は転・滑落事故。1名は室内ジムでクライマーが不意に落ちてきたことが原因であった。室内ジムに限らず、そもそも登攀者の下部には十分に気を付けることが重要である。他の

室内ジムでの事故も、ゴール取りで失敗したとのことが原因で、通常は無理な体勢で落ちることを避けるべきだと考える。バランスを崩したり、足を滑らしたりと、転・滑落での骨折の事故が増加している。十分な注意が必要である。海外登山(トレッキング)で2名が高度障害や肺水腫でヘリ搬送されている。元々、基礎体力が弱い方が十分な高所順応を行わないことが原因と考える。各自の順応能力や体調によっても発生するので注意が必要だ。今年は海外登山が多くなることが予想される。各パーティーでは、十分な準備をお願いしたい。

(遭難対策部長 石川昌)

▲ 部・局・専門委員会の活動

■ 組織部

平和と登山全国集會に参加し平和を語りましょう！

組織部会ではいま「平和と登山」集會の準備をしています。各地方連盟へ4月上旬に要綱が配信されたところです。皆様のお手元には届いたでしょうか？この集會では、「平和でこそ登山ができる」を縦軸とし、講演や各地方連盟・會員からの活動報告を聴き、討議・意見交換をして、学び合いたいと考えている。集會の講師には「原水爆禁止世界大会実行委員会」共同代表の野口邦明氏をお招きします。集會の中で2つのアクションを行う予定です。1日目最後に会場参加者とZOOM参加者全員をつなぐ「ピースソング・リレー」、そして2日目に「グリーン・アクション」街頭平和宣伝行動。平和を愛する人ならば誰でも、それぞれの形で参加できるよう、参加パターンも6種類ある。個々の平和への願いを、この集會で大きな塊となるよう、紡ぎつなげましょう。各地方連盟には多くの参加者を積極的に送り出していただけるよう、また、活動レポートの提供をお願いいたします。（組織部長 久保典子）

■ 海外委員会

海外委員1名増と海外委員専用オンラインストレージの整理いよいよ始まる

3月28日の理事会で専門委員会就任要請書が承認され、安彦秀夫さんが委員となった。安彦委員（千葉県連・海外委員長）に委員会で挨拶いただく。「海外委員会が扱うのは高所登山のみかと思いき、委員会参加を躊躇していたが、ハイキング層も含んだ活動をしているようなので海外委員となった。海外委員会の一員として頑張りたい。千葉県連ではただいま海外登山を計画中である」。海外登山交流集會の講師の謝礼について検討中である。他の集會の

兼ね合いも考慮した金額とする。また、「安全対策基金の講師派遣制度の目安（労山会員で講習内容を職業としている場合、一日2万円以上）を参考とする。海外委員会専用のオンラインストレージを整理中である。都道府県の労山會員の皆から送付された海外登山計画書を事務局で整理して共有している。海外登山計画書のフォルダには出発日を記入し、ジャンル毎に整理している。目的は、2023年度ならびに2024年度分の各月のフォルダ名をわかりやすくすることである。総会や評議会には、委員会から海外登山計画書一覧表（ジャンル別）を資料として提出しているが、これを委員全員が分担して作成できることを最終目標とする。（海外委員長 武笠真次）

■ 労山基金運営委員会

運営委員補充と実務説明会の開催を準備

3月28日理事会へ特別委員会・労山基金運営委員会就任要請書2名を提出し承認された。新たに①渡邊健治氏：岩手県連・盛岡山友会（岩手県連会長、全国連盟副会長）、②岩崎健氏：群馬県連・前橋ハイキングクラブ（同クラブ会長、群馬県連常任理事）が委員となった。4月23日の運営委員会で自己紹介と各委員の紹介を行う予定である。

労山基金実務説明会の開催は、①オンライン実務説明会は7月3日（水）19:00-20:30を予定し、準備中である。案内配信は5月連休明け以降で、申込と質問の締切は6月下旬とし、6月25日基金運営委員会で質問に対する回答を作成する。②対面形式の一般會員向け説明会は未定だが、事故率の多い地方連盟に開催を打診する。委員会で担当者を選出し、開催時期と候補地の調整を進める予定である。

（労山基金運営委員 武笠真次）

★「登山道整備補助金」の申請は、5月31日が締切です★

登山道整備補助金は、①資金総額は間30万円（1団体5万円が限度）。②申請者は労山會員。③応募締切は5月末日で、全国労山事務所必着（メール・郵便・FAXで受付）。④申請必要書類は、所定の「申請書」（HPから取得可）、「事業計画書」、「予算書」。⑤審査機関は全国理事会、遭対部に置き、審査によって順位及び補助額を設定する。⑥資金を提供されたものは事業3か月以内に報告書および決算書を提出することを義務付ける。⑦対外的に報告する場合は、労山から資金提供された旨を明記する。



5月6日(月)からスタート！

1958年から毎年、全国と広島・長崎をつないで歩いています。各地域の日程は、平和行進のサイトをご覧ください。→



労山基金 2024年4月 交付認定の一覧

No.	地方連盟	口数等 ※	事故発生日時	山域名	山行形態	事故原因	事故状況	傷病名
1	兵庫県	70代男性 5口	2023/3/11 13時10分頃	六甲・金剛・和泉山系 蓬萊狭、小屏風岩	登攀	転・滑落	蓬萊峡小屏風岩の右側ルートでトップロープで登攀。正規ルートでの直登は難しいので、右側クラックを利用して1.5mほどランナウトして登る。1ピン目のランニングピレーを外そうと正規ルートにトラバースし、戻る時に地上2mほどの所から落下。ランナウトしていたので、落下時にロープで左側に強く引かれバランスを崩す。地面に横向きに落下し背中を強打した。	脊髄圧迫骨折
2	大阪府	50代女性 10口	2023/04/08 11時30分頃	六甲・金剛・和泉山系 不動岩、不動岩東壁	登攀	落石	中級登山学校中、クライミングの取付でセルフピレイの支点としてクラックにカムを2か所セット。そのカムにゼロピンとしてカラビナをセットし、リードがゼロピンに荷重をかけたところ、カムをセットしたクラックが開き岩が崩壊。その岩の崩落に巻き込まれる事故が発生。落石を受け岩の下敷きになる。	右下腿多発開放骨折・右脚大腿部外側広筋部分断裂・右脚腓骨骨折・右足関節脱臼開放骨折
3	福岡県	30代男性 10口	2023/07/05 21時30分頃	人工壁	人工壁	転・滑落	室内ボルダリング中、高さ4メートルの傾斜壁終了点で手が滑り、背中からマットに落下。左腕が体の下敷きになり、左肘関節および前腕の骨折。	左腕骨折
4	神奈川県	70代女性 5口	2023/07/17 12時30分頃	東北、月山 鍛冶小屋跡	無雪期登山	転倒	頂上から鍛冶小屋跡まで降りた所で、後と少し距離が空いたので石垣の所で帽子を直していた。声が聞こえたので振り返り後ろにいるのを確認、前を向いて歩き出して前に倒れた。足元に小さな石が出ていたのに気がつかなかった。右腕に痛みが有り、前後に動かせたが上にあがらなかった。	右上腕骨近位部骨折
5	東京都	50代女性 3口	2023/07/31 09時30分頃	中央アルプス 空木岳、ヨナ沢の頭付近	無雪期登山	転倒	木曽駒ヶ岳から空木岳へ縦走3日目。ヨナ沢の頭付近、樹林帯を下っていた。右のみストックを使用。20cm位の段差(木製階段)を下りた際、左足首を捻り、捻挫。その場で、消毒、湿布、テーピングで応急処置。5時間かけ自力で下山。	左足首関節捻挫
6	京都府	60代女性 1口	2023/08/19 10時30分頃	近畿地方 八ヶ峰嶺谷	無雪期登山	転倒	檜谷川上流の乙谷二段滝に向かって渓流沿いの登山道を歩き、二段滝前の渓流を渡渉するとき、岩に置いた足が滑って転倒し、左手をついた。	左手首骨折
7	千葉県	50代女性 5口	2023/08/06 09時00分頃	奥多摩・高尾・陣馬 倉沢谷	沢登り	転倒	入沢から2時間ほど、ぬめりのある岩で足が滑った。とっさに手をついたが革のグローブの為か手も滑って肩を強打。	右肩腱板断裂
8	道央地区	50代女性 5口	2023/09/02 18時00分頃	北海道その他 岩内岳(809m付近)	無雪期登山	転倒	下山中に粘土質の登山道で左脚が前に滑り、残った右脚で踏ん張り切れずに膝を深く屈曲したまま捻った。すぐに痛みが出たため膝を三角巾で固定し、ゆっくり自力下山した。	後十字靭帯付着部・内側側副靭帯付着部・外側側副靭帯付着部の剥離骨折
9	東京都	70代女性 3口	2023/09/11 08時30分頃	八ヶ岳連峰 横岳、三叉峰	無雪期登山	転倒	硫黄山荘から→横岳→赤岳への縦走中、横岳のガレ場道でバランスを崩し転倒。左足首をひねる。その後は自力下山する。	左足首の捻挫及び剥離骨折
10	道央地区	70代女性 2口	2023/09/17 12時50分頃	北海道、黒松内岳 黒松内川川-二合目付近	無雪期登山	転倒	会山行時、頂上出発から1時間35分ほどで傾斜が急な二合目付近にさしかかったところ、根につまずいて転倒し、左足首を捻った。同行メンバーが応急処置を施し、別メンバーが事故者のザックを背負って、本人は20分弱の自力歩行で下山した。	左踝の骨折、左足首の捻挫
11	岡山県	60代男性 5口	2023/09/24 13時00頃	北ア 剣・立山周辺 仙人山、仙人谷ダム南西400m 付近	無雪期登山	転倒	阿曽原温泉小屋に向けて仙人温泉から雲切新道を下山中、登山道に出ていた木ノ根に右足を滑らせ後ろ向きに転倒した。転倒により左足首を捻り歩行困難のため119番に救助要請し富山県防災ヘリコプターにより救急搬送され病院に入院。	左足関節脱臼骨折
12	栃木県	60代女性 5口	2023/10/08 14時00分頃	八ヶ岳連峰、権現岳 西ギボシ下登山道	無雪期登山	転・滑落	権現岳登頂後下山開始し、西ギボシの岩場を下山中最後の岩場から登山道に下るとき2~3mほど滑落した。顔面、両手足に打撲傷を負ったが、応急手当後自力で下山した。	右足首骨折
13	山梨県	60代女性 1口	2023/10/07	那須、茶臼岳 茶臼岳から下り	無雪期登山	転倒	茶臼岳から峰の茶屋への下りで躓き転倒した。	前歯三本脱臼

No.	地方連盟	口数等 ※	事故発生日時	山域名	山行形態	事故原因	事故状況	傷病名
14	道央地区	70代女性 2口	2023/10/11 12時50分頃	秋田駒・岩手山・八幡平山系 焼石岳、姥石平と銀名水間標高 1350m	無雪期登山	転倒	事故者を含む会員2人と知人5人のパーティーで下山中、流水で岩石が露出して50cmほどの段差がある登山道で転倒し、右手首を骨折。別パーティーの看護師が応急処置。右手県消防部局の配慮で銀名水から県防災ヘリに搭乗し処置を受けた。	右橈骨遠位端骨折
15	千葉県	60代女性 2口	2023/10/22 11時00分頃	奥秩父 雁ヶ腹摺山～姥子山 奈良子林道出合付近	無雪期登山	転倒	雁ヶ腹摺山から姥子山へ向かう尾根道の奈良子林道出合から20m姥子山寄りの平坦地において、径100mmほどの朽木片につまづき左肩から転倒し打撲。	左肩骨折
16	千葉県	70代男性 5口	2023/11/02 15時00分頃	海外、ネパール ゴラクシェブ	海外トレッキングクロカン	高度障害	ネパールトレッキング後半で咳が連日続くようになり、睡眠も充分に取れなくなった。帰国後、呼吸器系の精密検査を受けたところ肺炎と判明。	肺炎
17	岡山県	60代女性 3口	2023/11/23 11時45分頃	中国・四国その他 泉山 頂上から南西方向約1km	無雪期登山	転倒	泉山山頂から南西方面に登山道を下山途中、頂上から1km付近で後方に転倒しそうになり左手を地面に突いた。外傷はなかったが激痛のため添木をして下山し、帰宅後津山市内の救急外来を受診。大きな所見はなかったが、翌日に専門医の診察を指示された。翌日整形外科を受診、左手首2ヶ所の骨折と診断され、患部をギプス固定した。	左手首骨折（2ヶ所）
18	石川県	70代男性 3口	2023/11/26 14時40分頃	白山系 鷲走ヶ岳・白抜山 抜山登山口から距離500m	無雪期登山	転倒	杉林の中を慎重に下山していたが、落ち葉に隠れた根に右足を滑らして転倒・打撲した。荷はメンバーが分担し、事故者はダブルストック使用でゆっくりと自力下山。	右足首骨折
19	埼玉県	50代女性 1口	2023/11/25 09時45分頃	奥武蔵・秩父 天覚山と大高山の間地点	無雪期登山	転倒	天覚山から大高山の間の平坦地で根っこにつまづき前のめりに転倒。痛みがなかった為、休憩し登山再開。帰宅してから右足の付け根に痛みを感じ通院。	筋挫傷
20	大阪府	80代女性 1口	2023/11/26 09時30分頃	近畿地方、桜の園 長尾山第3トナリ内	無雪期登山	転倒	廃線のトンネル内で転倒し、額上頭部から出血。ティッシュを当てタオルで縛って救急車を手配。パーティーの内2名が廃線出入り口の畑熊商店まで同行し、救急車と合流。	前頭部打撲傷
21	長崎県	70代男性 3口	2023/12/10 10時00分頃	九州・沖縄その他 立神山～帆掛山一帯	無雪期登山	虫・動植物	2024年第19回新春港一周ハイキング（1月14日実施）の下見山行を行った。当日に向けて途中登山道の整備などを行いながら歩いた。高熱が続き、検査の結果マダニとわかった。	重症熱性血小板減少症候群
22	石川県	50代女性 10口	2023/12/30 11時50分頃	北ア後立山連峰 乗鞍朝日岳直下2880m付近	積雪期登山	転・滑落	29日に乗鞍岳スキー場から入山、位ヶ原山荘にて宿泊。翌30日乗鞍岳登頂後、垂玉岳と朝日岳の間のコルから夏道沿いに下山。途中から夏道を外れて下降。途中停止しているときにバランスを崩して滑落。停止を試みるも止められず、途中の岩に激突後、下の沢の吹き溜まりで止まった。	前頭骨骨折・鼻骨骨折・顔面多発挫創・外傷性頸腕症候群・全身打撲
23	道央地区	40代男性 5口	2024/01/07 14時30分頃	八ヶ岳連峰、横岳 三叉峰ルンゼ上部	冬季登攀	凍傷	三叉峰ルンゼアイスクライミングを終了して、石尊稜(2600m)の稜線へ出るまで、標高200m程ミックスの岩壁と岩稜帯を登る。その岩壁のトラバースで同行者が事故。トラバース上に少し大きめな枝が落ちていて、ルート上邪魔だったので木を落としたら、その木の枝振りが立派で、右足に引っかかり、枝の落下に巻き込まれた。枝と右足が絡まったまま3~5m落ちて複雑骨折。3人で自力下山。赤岳鉱泉まで頑張りたかったが、その分岐で22:50。夕方から降雪が続き、尻セードも進まなくなったので、そこでピバーク。翌朝8:40頃に救助隊が到着。翌朝、赤岳鉱泉の診療所で凍傷の疑いがあるとのことで病院へ。	手足が凍傷の疑いで診療
24	神奈川県	50代女性 10口	2024/01/13 10時00分頃	八ヶ岳連峰 峰の松目、王岩	氷瀑	転倒	クライマーが終了点でテンションコールをし、ピレイヤーである私は全体重を腰に落としテンションをかけたが、全体重をかけた拍子に、凍ってスタックしていたロープが弛み後ろへ転倒し、右腕を強打。	肩腱板断裂
25	和歌山県	65代男性 1口	2024/02/04 10時30分頃	近畿、黒嶽 502m峰の少し手前	無雪期登山	転倒	6人パーティーの最後尾を歩いていたところ、前夜の雨で露出した木の根が濡れており、慎重に歩いていたが、滑って横転し、その際に右手を着き、右肩を捻った。その時は少しの違和感だったが、三日後ぐらいから、夜の就寝にも影響するほど肩の付け根が痛みだした。	右肩打撲による捻挫

※口数等：（団＝団体口数、（個＝個人口数、表記がないものはすべて個人登録のみ

▲ 全国連盟の活動

2024年4月

- 3日 遭難対策合同部会
- 9日 自然保護委員会
- 同日 海外委員会
- 11日 組織部会
- 15日 ハイキング委員会
- 同日 山筋体操推進委員会
- 16日 三役会議
- 同日 新日本スポーツ連盟との定期協議・懇談会
- 23日 労山基金運営委員
- 25日 第2回理事会

■ 第1回理事会の結果

【討議事項】①総会の結果について。対面で100名近い参加者があり全体的には良かった。会計報告ミスについて今後は十分に注意する。女性の参加者が少ない。集合写真撮影後の閉会挨拶は逆の方が良い。一般財団法人への資産移動について分かりやすい説明文を作成し地方連盟へ配布する。②第36期の日程を確認。役割分担は第2回理事会で確認する。③地方連盟の総会は、北海道道央・長野・新潟に浦添会長、東京に石川副理事長、石川・福岡に川嶋理事長、滋賀・大阪に久保副理事長、静岡に田上理事が来賓出席。

【承認事項】安全対策基金は広島県連の申請金額100,000円を承認。全国革新懇から総会案内と世話人推薦の依頼があり、浦添会長が継続する。共済の今日と未来を考える懇話会諸費用、了承。2024原水爆禁止国民平和大行進団体分担金、了承。しんぶん赤旗第95回メーデー祝賀名刺広告への協力依頼、了承。



平和と登山全国集会

NO PEACE NO CLIMBING

記念講演
核兵器禁止と世界平和への道
～核兵器も原発もない世界の実現をめざして～
講師 野口邦和 (原水爆禁止世界大会実行委員会共同代表)

2024年6月29日(土)
13:30-18:40
基調報告 浦添嘉徳
記念講演 野口邦和
地方連盟からの報告と自由討議

2024年6月30日(日)
8:30-11:00
地方連盟からの報告と自由討議
12:30-13:30
新宿駅 グリーン・アクション

会場: 東京セントラルユースホステル
定員: 会場80名 Zoom参加無制限
※誰でも参加できます! 申し込み・詳細は⇒



日本勤労者山岳連盟

お申し込みをお待ちしています! (組織部)

【報告事項】★遭難対策部: 2月24日に戸隠で栃木県連会員が滑落行方不明になっている、後の山行について季節外れの大雪などがあり、注意喚起の「緊急アピール」を発信する。★組織部から「平和と登山全国集会」開催案内が提案され了承。★国際部から8月末に予定していた「カザフスタン国際交流トレッキング」について、国際部長の勤務都合等の諸事情により延期することを確認。★労山基金運営委員会から運営委員2名の追加要請があつ

た。正式には来年の評議会で承認されるが、実質的な活動には次回委員会から参加してもらうことを確認した。2024年度主催者賠償責任保険の申込案内の案を確認した。★海外委員会から今期1名の委員追加要請があり承認した。★ハイキング委員会から岩崎健群馬県連会員について、ハイキング委員として推薦予定であることが報告された。10月の全国ハイキング交流集会の会場について、「伊豆長岡温泉・いづみ荘」に決定した。